

辻 大河 さん

小学校教育課程 小学校教育コース
大阪府支援学校（小学部）内定
和歌山県立星林高等学校出身



■ 学校種を目指したきっかけ

当初は、小学生時代に出会った恩師に憧れ、小学校教員を志望していました。しかし、小学校の特別支援学級のインターンシップ活動や特別支援学校でのボランティア活動、放課後等デイサービスでの活動を通して、多様な個性や特性のある子どもたちと関わる経験を重ねるなかで、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添いながら支援することの大切さを実感し、特別支援学校の教員を目指したいという思いが強まりました。

■ 大学での学び・教育実習での経験

特別支援学校での教育実習では、自己紹介の際に口頭説明に加えて自作のイラストを用いたことで、児童の表情が和らぎ、関心を引くことができ、関係づくりのきっかけとなりました。研究授業では図画工作科で折り染めの授業を行い、児童はさまざまな模様が生まれることに興味を持って主体的に活動していました。鑑賞の時間には、多角的な視点から模様について積極的に発言する姿が見られ、教師がその発言を拾って全体で共有し、みんなで理解を深めていくことの大切さを学びました。

■ 採用試験でのアピールポイント

採用試験では、「すぐに諦めない粘り強さ」を強みとしてアピールしました。特別支援学校でのボランティア活動において、意思疎通が難しい児童と関わる中で、当初はその思いを十分に汲み取ることができませんでしたが、丁寧な関わりを重ねることで、少しずつ気持ちを理解できるようになりました。この経験から、子どもの気持ちを理解することを諦めず、一人ひとりと丁寧に向き合っていきたいと考えていることを面接で伝えました。

■ 教職センターでのサポート

面接対策では経験豊富な先生方に個人面接練習や集団討論対策の講座をしていただきました。教職センターの先生方との個人面接練習を通して、自分では気づきにくい相手から見た印象や具体的な改善点を丁寧に教えていただきました。その助言をもとに話し方や表情、伝え方を見直し、改善を重ねたことで、面接では自分の考えや経験を落ち着いて分かりやすく伝えられるようになりました。また、集団討論の講座を通して、自分の意見を述べるだけでなく、他者の意見を受け止めながら議論を深める姿勢の大切さも学び、これらの経験を今後の教育実践に生かしていきたいと考えています。

■ 目指す教員像

私は、子ども一人ひとりの持てる力を最大限に発揮できるよう、丁寧な指導・支援を行う教師になりたいと考えています。また、子どもたちと共に成長しながら、保護者や関係機関と連携し、子どもたちの未来を支えていくことができる教員を目指しています。そのために、日々の実践を振り返り、学び続ける姿勢を大切にしながら、子ども一人ひとりに寄り添った教育を実践していきたいと考えています。

■ 後輩へのメッセージ

面接では、完璧な答えを用意しようと考えすぎるよりも、質問の根本にある意図を捉え、自分らしい言葉で思いを伝えることが大切だと思います。また、日頃の面接練習から胸を張って自信をもって臨むことで、本番でも落ち着いて自分の力を発揮できると思います。試験勉強や面接対策で不安になることもあると思いますが、共に頑張ってくれる先生方や仲間と励まし合いながら、最後まで諦めずに挑戦してください。